

第100回イーマ定例会

「福島原発による放射線—放射能の正しい知識と医学的見地からの正しい対応」

講師： 陰山康成先生（高輪クリニック院長）

■放射線の測定：

4月14日に福島原発現地入りをし、測定機械を用いて放射線測定を実施。

1時間あたり12マイクロシーベルトで安全が確認できた。

■家畜について：

20キロ圏内の牛や豚などを安楽死させることが政府により決定された。

安全性が確認できた為、殺処分の再検討を政府にお願いしたが副大臣の管轄外だったこともあり、却下された。

家畜が殺された時の農家の方々の心理的な部分を国は考えていないように思える。

■高輪クリニック：

放射性物質についての問い合わせが非常に多い。

風評被害を過度に受け入れている人が多い。物理的な被害よりも何百倍も精神的な被害が大きいように思う。

真っ先に必要なのは心のケア、国やマスコミは正しい情報をバランス良く出す必要がある。

■光と闇の観点：

再生医療を高輪クリニックでは進めている。

人間の身体を分子レベルで落とし込んで扱うようになってきた。

細胞を一部取り出し、精子と卵子が受精した時の一番原始的な細胞の状態に戻して、どんな細胞にでも分化が可能。

半永久的に保存可能で、必要な際に以前取った細胞を体内に入れることが可能になる。

その為、がん治療も含めた全ての治療法が20年以内に大きく変わる可能性が出てきた。

つまり全ての病気を治せる画期的な治療法の可能性が出てきた。

■西洋と東洋の医学：

西洋医学：肉体

東洋医学：精神、スピリチュアル、心理と身体を関連づけて治療する。西洋医学にはない。

光、火、明るさ、外が西洋で、もっと曖昧で分ける必要もない闇、夜、全体、内と考えるのが東洋。

震災で無条件に何かしてあげたいと思える感覚は正に日本人が持つ和、あるいは多神教的な感覚。

医療はそういう面から考えると完成系ではなく、東洋医療を取り入れる必要がある。

再生医療が発達しても心とは全く関係がない。心や精神的には死にたいと考えたとしても身体が若く健康で死ねないという状態にもなりうる。

その為、西と東の医療のバランスが大切になってくる。

■これからの医療：

2025年には試算で社会保険給付金、医療費、介護費と年金を含む日本に必要な費用が140兆円と言われており、メタボリックシンドロームについての対策を取り入れたが医療費は落ちていない。国民一人ひとりが本当に医療に対しての哲学基盤を考え直し、病院にかからなくて済む真剣に健康を考えなければならない時代に既に突入している。

原因は一神教にあると考える。つまり具合が悪くなれば医療機関に委ねるというキリスト教的な発想でお金で解決しようとする。江戸時代までの東洋的な和漢医がやっていた養生学、つまり自分の身体は自分でセルフケアすべきで、身体の内からというものの考え方に見直す必要あり。全ての国民が東の哲学を健康や人生に取り入れることが必要な時代になった。

そのためには自分で健康管理ができるようにプロの指導者の存在が不可欠と考える。医師は予防医学は学んでいない為に困難だが、柔道整復師、鍼灸やあんまマッサージ師が妥当と考える。

■被爆と健康法：

今回の福島原子力発電所の放射能は広島、長崎のような短期の核爆発とは異なり、今回は長期に低線量でフリーラジカル（活性酸素）が増えることに問題がある。

それでもフリーラジカルの量は200万分の一程度の為、影響は大したことはない。

ただし、1億人中100人という集団リスクとしては通常的生活より高まる状態と言える。

人はフリーラジカルが出て通常は瞬時に消してくれる。

今回の震災を機に個人レベルで健康について見直すことで、今まで以上に健康レベルは上がると言える。この機会ととらえ、遠くに逃げるのではなく、食事を見直す、運動をする、ストレスに気をつけるなど健康と向かい合ってみることが重要。

■物質の社会性：量子の個性

～近代量子力学の到達点～

- 1.量子はある瞬間に、一つの場所だけに存在するのではなく、あちらこちらに同時に存在する。
ある意味では、時間と空間の中の、いたるところに存在する。
- 2.観測されるまでは、量子は特定の性質を持たず、観察されたその瞬間に、どの状態になるかは量子自らが選ぶ。
- 3.量子は社会性が高い。一度同じ状態をとったことのある量子同士は、どんなに時間的空間的に離れていても、結びあったままである。
- 4.以前接触していた2つの量子の一方が観測された場合、その量子は自分の状態を選択するが、もう片方の量子の選択は最初の量子の選択に左右される。
上記のことから人の意や念というのは心に大きな影響を与えるし、意や念が移る為、心の状態を自らコントロールする必要がある。

■西洋文明と東洋文明の比較：

西洋	東洋
一神教 神と人とその他、父性 光、生、時	多神教 自然と一体化、母性 闇、死、間
テクネー 無理やり引張り出す	ポイエーシス 自発的に持ちだしてくれる
分離と秩序 上下関係 (例：人は上、牛は下)	全ては道につながる同じ存在 並列関係 (人と家畜は共生)
抗生物質 西洋医薬品 抽出エキスサプリ	腸内バクテリアとの共生 プロバイオティック アロエベラ

全体を観ると多くのことがわかってくる。

アトピーの例：

皮膚は臓器の一部という東洋的な考えで治療をしていくと高い確率で良くなる。

皮膚そのものを治療するよりも口腔内を観察する。歯の金属が電流を発生させる為、外すことで良くなったりする。

歯の金属は合金で一種ではない。特にアレルギーや花粉症などの人は特に注意が必要。

その為、アレルギーが心配な人は金属を身につけない方が良い。

または歯のバイ菌に特に注意すること。それ程、口腔内の状態が身体に影響を与える。

そう考えた時、一部を集中して観るのではなく、東洋的に全体を観ていくことが大切と言える。

以上